

第71回日本実験動物学会総会 ランチョンセミナー

詳細 / お申し込み



ランチョンセミナー 2 (LS-2)

[日時] 2024年5月29日(水) 12:15 - 13:15

[会場] みやこめっせ特別展示場 A 地下1階 第3会場

[演題] JAX 玉手箱 ～JAX マウスで拓く実験動物学の未来～

[講演者]



内田 あや (DVM, MSc, Ph.D)

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社
Technical Information Services

[要旨]

ジャクソンラボラトリー (JAX) は研究・教育・リソース & サービスの3つの役割を担う研究機関である。本セミナーではマウスの基本の「き」についてハイライトするとともに、JAXのマウスリソースおよび実験プラットフォームについて、幅広くご紹介する。まず、基本知識として①マウスの「亜系統」についてご紹介し、②免疫不全マウスについて、免疫系ヒト化の応用例を交えてご紹介する。さらに、研究に役立つツールとして、③老化研究のためのAgedマウス、そして④抗体医薬品の評価系としてFcRnヒト化マウスについてご紹介する。本セミナーを通して、世界のマウスリソースを活用した皆さまの研究展開を支えられたら嬉しく思う。

ランチョンセミナー 6 (LS-6)

[日時] 2024年5月30日(木) 12:15 - 13:15

[会場] みやこめっせ大会議室 地下1階 第4会場

[演題] 病原微生物の検出状況と環境中における細菌の安定性から考える環境サンプルの有用性

[講演者]



鈴木 裕貴 (DVM)

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社
モニタリングセンター

[要旨]

実験動物を用いた試験研究において、再現性のある試験研究データを得ることは、その社会的な信頼性のためにも重要である。したがって、試験研究結果に影響を与える実験動物の微生物学的ステータスの管理は必須となる。各施設の適正な微生物統御を考える際、本邦における病原微生物の検出状況や病原微生物の特性を知り、適切な微生物モニタリングの手法を選択することは非常に重要である。

本セミナーでは、弊社の受託微生物モニタリング事業における2022年の特定病原微生物の検出状況、および弊社で実施した環境中における細菌の安定性検試験について発表した後、微生物モニタリングにおける環境サンプルの有用性について紹介する。